

平成23年度

丹波すぐれもの大賞

- ◆ 応募期間/平成23年11月21日(月)～平成23年12月20日(火)
- ◆ 審査委員会/平成24年2月8日(水)
- ◆ 表彰式/平成24年3月16日(金)

丹波地域は「都会に近い田舎」と親しまれているように、阪神圏からの優れたアクセスと懐かしい日本の原風景が色濃く残る地域として知られていますが、一方で、国内外で高いシェアや優れた技術を誇る企業が数多くこの地域で操業しているにもかかわらず、意外にこうした優れた企業のごことが知られていません。

このため、地域の未来を担う若者をはじめ多くの方々に、地元企業等の取り組みへの興味や関心を高めていただくことをねらいとして、今年度、「丹波すぐれもの大賞」を創設し、産業界や地域の活性化に貢献している製品・部品や、生活の豊かさに貢献している商品・農産物等を生産している企業や団体を表彰することとしました。この賞は、すぐれた製品等を発掘し、受賞企業等を地域の誇りとして讃え、日頃の努力や熱意に報いるとともに、新たなものづくりへのモチベーションを高めようとするものです。

今回は、「きらめき部門」と「わくわく部門」で14件のご応募があり、学識者や市民代表からなる5名の審査委員による厳正な審査を経て、5件の「すぐれもの」を決定し、日本六古窯のひとつとして地域が誇る丹波立杭焼の表彰楯をお贈りしました。

次年度以降も、丹波地域の産業を支え、地域活性化に貢献していただいている企業等の取り組みを積極的に発掘して顕彰し、広く多くの方々にお知らせしていきたいと思っております。



審査委員会委員長 北村 新三
(兵庫県立工業技術センター所長)

講評

今年度より丹波県民局で創設された「丹波すぐれもの大賞」に、「きらめき部門」「わくわく部門」全体で14件のご応募がありました。様々な分野の専門家5名の審査委員による厳正な審査の結果、5件の「すぐれもの」が選出されました。

審査は、製品・部品や商品の生産にあたって、従来の概念を覆すような革新性や高度な技術、産業界や地域経済への影響度、企業経営への貢献度など様々な面から審査させていただきました。

まず、「きらめき部門」では、明昌機工(株)が生産されている電子線で作った微細な型を基板上に転写する製品「ナノインプリンター」は、ナノ単位のパターンを全面均一プレス印刷することにより、ナノパターン形成の量産技術を確立し、装置の低価格化を実現しました。

大地農園(株)が生産されている「ブリザーブ加工技術による新商品カサブランカ」は、壊れやすく商品化の難しかった大輪のカサブランカを、一度ばらして加工したのちワイヤーで補強して組み立てることによって商品化することに成功しました。

フルヤ工業(株)が開発された「熱可塑性樹脂×シリコーンゴム(熱硬化性)の同時一体成形品」は、性質の異なる熱可塑性樹脂とシリコーンゴムを、1工程で成形させる技術を開発し、コスト削減・生産性・デザイン性の向上を実現しました。

平和発條(株)が生産されている地震時に建物の揺れを最小限に抑制する制震ダンパーの部品「伸縮両効き皿ばねユニット」は、圧縮方向と引張方向の両方向に作用する皿ばねユニットを開発し、制震効果を高め、制震ダンパー装置の設置数を減少させることに成功しました。

次に、「わくわく部門」では、(株)やながわが生産されている地元特産品丹波栗を使用したスイーツ「和のモンブラン」は、丹波地域内外へ丹波らしさを表現し、会社の代表商品として会社ブランドの価値を大きく向上させました。

以上、受賞製品について簡単に紹介させていただきましたが、今回選外になった製品・商品にも、企業発展や地域貢献のために時間をかけて創意工夫が凝らされているものも多くあり、丹波内には、大変素晴らしい企業や団体が沢山あることを改めて実感いたしました。

皆様が、今回の受賞をきっかけに、さらなる飛躍を遂げられますよう祈念いたしまして、簡単ではありますが講評とさせていただきます。

明昌機工株式会社

NANOIMPRINTER (ナノインプリンター)

次世代新デバイス作成には新機能を発現させるために10nm (ナノメートル※) サイズのパターン形成技術が要求されていたが、電子ビーム描画装置などは大変高価で大きな装置であり、なかなか普及しなかった。

産官学連携による研究で、電子顕微鏡によるナノレベル転写技術の実証や、室温で転写できる新たな転写材料の採用など技術的な困難を克服して、2003年に「NANOIMPRINTER」(ナノインプリンター)を開発した。

「NANOIMPRINTER」は10nmレベルのパターンを高精度全面均一プレス印刷することによりナノパターン形成の量産技術と装置の低価格化を実現するものである。産業界ではナノレベルの円柱構造体群を形成したシートをテレビ画面の前面に貼ることで、照明や背景の写り込みを防止したり、太陽光パネルの集光能力を高め発電効率を向上させる技術として利用されている。

明昌機工(株)では、大学や国公立研究機関、大手企業の研究開発部門向けの試験研究用理化学機器および先行試作の機器開発を主要業務としており、大企業の下請けではなく、独自に精密機器を設計製作から電子制御まで、一貫生産で開発を行っている。

特に近年はレーザー機器、ナノテクノロジー、医療機器を中心に、信頼の高い技術力で応えている。

※ナノメートルは10億分の1メートル



会社概要

本社所在地	兵庫県丹波市氷上町沼148
代表者	代表取締役社長 岡本 利樹
創業	昭和15年9月
設立	昭和27年5月
資本金	3,000万円
社員数	50名
事業内容	放射光・レーザー・赤外線関連機器／ナノテク機器／理化学研究用機器などの開発製造

会社沿革	神戸市に興電社創立、
昭和15年	船舶無線用機器並びに電子管部品を製造
	東邦電機(株)幸世工業と合併、幸世工業(株)創立
	明昌機工(株)として新発足
昭和21年	中小企業庁長官より優良工場表彰
昭和27年	姫路工業大学高度産業科学技術研究所
昭和35年	中型放射光施設ニュースバル装置建設参画
平成10年	ISO9001:2000年版認証取得
平成14年	中兵庫信用金庫「中信ふるさと賞」受賞
平成14年	柏原税務署長より「優良申告法人」表敬状
平成15年	ナノテク展にナノインプリント装置出展
平成16年	以降毎年出展(於東京ビックサイト)
平成18年	ISO14001:2004年版認証取得

株式会社大地農園

プリザーブ加工技術による新商品 カサブランカ等

2003年、日本で初めてバラのプリザーブ加工に成功し、その後カーネーションや蘭類、世界初の菊類のプリザーブドフラワーを開発した。そして、世界でも有数のメーカーとして創業以来約55年にわたり培ってきた技術をもとに、長年挑戦し続けてきた夢の大輪・カサブランカのプリザーブ加工に成功した。

カサブランカは大輪ながらデリケートなために、壊れやすく商品化が難しかったが、花びらを一度ばらしてプリザーブ加工し、ワイヤー補強のうえ組み立てることにより、手頃な価格にて商品化することができるようになった。

(株) 大地農園は、世の中の多くの人々に、自然の素材を通じて、新鮮さと美しさ、感動と安らぎを届けるため、加工技術の開発とともに新商品の開発に取り組んでいる。技術力と開発力を活かし、日本を代表するプリザーブ&ドライフラワーの世界的メーカーとして、国内にとどまらず海外市場へと飛躍し続けている。

また、それを支え続けるのが多くの地元採用の社員であり、地域経済、地域雇用青少年育成事業等地域の活性化に貢献している。



会社概要

本社所在地	兵庫県丹波市山南町工業団地内
代表者	代表取締役 大地 但
創業	昭和35年
設立	昭和56年9月
資本金	5,000万円
社員数	121名
事業内容	プリザーブドフラワー・ドライフラワー・ドライマテリアルなどの自然素材の製造販売ならびにそれらの輸入・加工

会社沿革	植物を漂白する技術を生み出し、生産加工開始
昭和30年	国内販売が主となり、取り扱う商品も多種になる
昭和45年	現在地に新社屋・新工場が完成
平成5年	ドライフラワー取扱い量日本一の工場となる
平成7年	年1回の展示会をスタート、現在まで続く
平成15年	日本初の自社開発プリザーブドローズ販売開始
平成16年	ISO9001取得
平成19年	15,000坪の敷地に創業者記念館アースマスターズギャラリーが完成

フルヤ工業株式会社

熱可塑性樹脂×シリコンゴム(熱硬化性)の 同時一体成型品

熱可塑性樹脂と液状シリコンゴム(熱硬化性)という、相反する成形プロセスを持つ素材を同時工程内で接着する技術を開発した。エラストマー(ゴム状の弾力性を有する工業用材料)と比較して、永久圧縮歪・耐熱性・電気絶縁性などにおいて優れた物理的特性を持ったシリコンゴムと熱可塑性樹脂を接着することにより、従来では対応出来なかった幅広い分野での製品開発が可能となった。化学的接着のため、アンカーやブリッジ等を利用した接合の必要性が無く、製品形状と金型設計が容易になるとともに、同時工程内での接着のため、組立・インサート等の工程数の削減にも貢献している。

フルヤ工業(株)では、プラスチック製品の企画立案から製品設計、金型設計・製作、射出成形、品質管理まで、あらゆるニーズに対応できる万全のサポート体制を整えている。顧客が心に描く無限大の夢、まだ形の定まらない大きな夢に最善の形を提案することを、企業の務めとしている。



会社概要

本社所在地	兵庫県篠山市大沢新110番地
代表者	代表取締役社長 降矢 寿民
創業	大正7(1918)年11月
設立	昭和40年1月14日
資本金	4,500万円
社員数	137名(2012年3月)
事業内容	プラスチック製品の設計開発・製造

会社沿革	大阪にて降矢ボタン工場を創業
大正7年	現在地へ工場を移転
昭和2年	ポリエステル製シャツボタンの製造開始
昭和30年	アパレル商品の各種パーツ製造開始
昭和50年	ISO9001品質マネジメントシステム認証取得
平成12年	ISO14001環境マネジメントシステム認証取得
平成13年	大阪中小企業投資育成株式会社の投資を受け
平成17年	資本金を4,500万円に増資
平成19年	東京営業所開設
平成21年	金型内製化本格スタート
	成形課にクリーンルーム増設
平成22年	FURUYA INDUSTRIES (THAILAND) 工場設立
	LSR(液状シリコン)複合成形機導入

平和発條株式会社

伸縮両効き皿ばねユニット

地震時に建物の揺れを最小限に抑制する制震ダンパーの構造改良部品を開発・製造した。

本来は圧縮力しか対応できない皿ばねを、皿ばねユニットの構造を工夫することにより、皿ばねユニット全体として圧縮・引張両方向に作用する機構とすることができた。これにより、ばね要素としては、1つのばね要素が常に圧縮される方向に作用するため、圧縮時の特性と引張時の特性が同じ特性を示す。また、皿ばねの大きな特徴である、形状や組合せを変化させることにより、要求・仕様に見合った特性（荷重～たわみ特性）に調整することも可能となった。これらの特徴を活用することにより、今後は様々なニーズに対応できる。

平和発條(株)は1951年に、精密ばね・ばね座金の専門メーカーとして創業し、瀬戸大橋に使われている直径70センチの大型皿ばねから、小さいものでは携帯電話に使われるヒンジに使われるばねなど、数千種類を商品化している。

「21世紀に通用する想像力豊かな個性ある技術化を目指そう」をモットーに、現在所有している設計技術・金型製作技術・加工技術・熱処理技術などにさらに磨きをかけ、高精密と高性能を備えたばね製品の製作に取り組んでいる。



会社概要

本社所在地	大阪府大阪市淀川区加島3-7-26
篠山工場	兵庫県篠山市大山下380
代表者	取締役社長 熊谷 保利
創業	昭和26年4月
資本金	3億8,500万円
社員数	260名
事業所	工場 篠山工場・滋賀工場 営業所 大阪・東京・名古屋・掛川
事業内容	皿ばね・薄板ばね・保持器・座金類 線ばね・止め輪等の製造販売

会社沿革	
昭和26年	精密ばね、ばね座金の専門メーカーとして大阪市に設立
昭和43年	現在地に丹南工場（現篠山工場）を新設
昭和60～61年	瀬戸大橋の耐震用皿ばねユニットを開発供給
平成12年	ISO9002 認証取得
平成14年	ISO9001 認証取得
平成16年	ISO14001 認証取得
平成23年	中国に平発弾簧（蘇州）有限公司設立

株式会社やながわ

丹波の風土が織り成す丹波栗スイーツ 「和のモンブラン」

丹波を代表する特産品の一つに「丹波栗」がある。

その丹波栗も生産現場においては少子高齢化などの波が押し寄せ、その品質と量の維持が大きな課題となっている。また、生栗での購入が減少傾向にあるにも関わらず、丹波栗の加工品はほとんどない状況にあり、丹波栗のブランド再構築と消費拡大に向けた取り組みが求められている。

このような状況の中、特産品の加工業者である(株)やながわが、地元素材にこだわった和洋菓子店「夢の里やながわ」を立上げ、誕生したのが「和のモンブラン」である。

丹波栗の風味を損なわないため、生栗をできるだけ早くペースト加工して冷凍保存する。カスタードクリームは、地元酪農家の氷上低温殺菌牛乳と地元の新鮮卵で丹念に作る。

丹波の風土が育んだ素材を組み合わせる誕生した「和のモンブラン」は、丹波地域内外の消費者から好評を博しており、丹波地域の活性化につながる様々な役割を担った商品といえる。

(株)やながわは「丹波伝心」をキャッチフレーズに、丹波の特産品である栗・黒豆・大納言小豆・ブルーベリーなどの農産物の一次加工から、その加工品を使った和洋菓子の製造販売まで自社で行っている。



会社概要

本社所在地	兵庫県丹波市春日町野上野209-1
代表者	代表取締役 柳川 拓三
設立	明治25年
資本金	1,000万円
社員数	31名
取扱品目	丹波の特産加工品 (黒大豆煮豆、丹波栗渋皮煮、ブルーベリーソース、ミルクジャム等) 丹波の特産品を利用した和洋菓子 (生菓子・焼き菓子・ゼリー等)、緑茶

株式会社やながわ 本社	兵庫県丹波市春日町野上野209-1	TEL (0795) 74-0010
夢の里やながわ 本店	兵庫県丹波市春日町野上野889-1	TEL (0795) 74-0123
夢の里やながわ 福知山店	京都府福知山市駅前88番地 和田ビル	TEL (0773) 22-2840
TAMBA FU-DO 阪神店	大阪市北区梅田1-13-13 阪神百貨店B1	TEL (06) 6348-8580
夢の里やながわ	定休日：木曜日	
	営業時間：本店	10時～18時
	福知山店	10時～19時



丹波すぐれもの大賞

兵庫県丹波県民局

大丹波連携参事 産業・ツーリズム課
〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 688
TEL : 0795-73-3782

23丹波(P)2-020A4